

公開研修会「第1回 授業研究会」7月6日(火)、7日(水)

2日間に渡って行う「国語科」「算数科・数学科」の授業改善!

<講師>筑波大学 大学院 藤原 義博 先生

香川大学 教育学部 武藏 博文 先生

上越教育大学 大学院学校教育研究科 村中 智彦 先生

今年度のテーマも『教科別の指導における「参加」を深める授業づくり』についてです。その中でも、児童生徒が互いに発表したり、確認したり、話し合ったりする中で、それぞれの取り組みや結果に対して行う「評価」の工夫について取り組みました。2日間の研修会の総括として、村中先生からは、授業づくりの中で新しい試みをする事や成果のあったことを継続する大切さについてお話がありました。武藏先生からは、各学部の授業の今後の可能性や、チャレンジタイムの取組の大切さについてお話がありました。藤原先生からは提言として、小出進先生(植草学園大学)の「知的障害教育の7つの理念」やキャリア教育の意義、児童生徒が学び合う「協同学習の5つの基本要素」についてお話がありました。

岩手県の弘前大学附属特別支援学校、京都府の舞鶴養護学校など県内外から30名近くの先生方の参加があり、熱心に参観・協議していただきました。参加者のアンケートから、コメントを紹介します。

- ・「先生方の動きは少なく、生徒が自ら動いている姿が感動でした。全体的な雰囲気は生徒と先生のやり取りが授業中にすごく楽しそうな感じでした。自分も生徒と楽しく学習するのがこれからの目的なので、富山に来てよかったです。」
- ・「2日連続の研究会で1日目の課題を受け、2日目に何とか改善しようという先生方の一丸となったチームワーク、意識の高さに大変感銘を受け、頭が下がる思いでした。富山大の取り組みを是非所属校に紹介させていただきたいと思います。」

